

薬剤部通信

富山市民病院 薬剤部
発行ID:1812-1
発行日:平成30年12月

1. 薬事委員会報告(平成30年12月18日)
 - (1) 新規採用医薬品(6薬品8規格)
 - (2) 院外処方限定医薬品(9薬品12規格)
 - (3) 採用中止医薬品(9薬品10規格)
 - (4) 院外処方限定医薬品の追加または削除
2. 販売中止医薬品について

1. 薬事委員会報告(平成30年12月18日)

(1) 新規採用医薬品

分類	骨粗鬆症治療剤(活性型ビタミンD3製剤)		
薬品名	㊟㊟ エディロールカプセル0.5、0.75μg		
一般名	エルデカルシトール	メーカー	中外製薬
薬価収載年月日	2011年3月11日		
規格・薬価	0.5μg 1cap: 68.90 0.75μg 1cap: 97.90	貯法: 遮光、室温保存	
効能・効果	骨粗鬆症		
用法・用量	通常、成人にはエルデカルシトールとして1日1回0.75μgを経口投与する。ただし、症状により適宜1日1回0.5μgに減量する。		
備考	【禁忌】(次の患者には投与しないこと) 妊婦、妊娠している可能性のある婦人又は授乳婦 【重大な副作用】 【1】高カルシウム血症【2】急性腎不全【3】尿路結石		
申請科	整形外科		

分類	カルシウム受容体作動薬		
薬品名	㊟㊟ オルケディア錠1mg、2mg		
一般名	エボカルセト	メーカー	協和発酵キリン
薬価収載年月日	2018年5月22日		
規格・薬価	1mg1錠: 280.70 2mg1錠: 412.10	貯法: 室温保存	
効能・効果	維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症		
用法・用量	通常、成人には、エボカルセトとして1回1mgを開始用量とし、1日1回経口投与する。患者の状態に応じて開始用量として1日1回2mgを経口投与することができる。以後は、患者の副甲状腺ホルモン(PTH)及び血清カルシウム濃度の十分な観察のもと、1日1回1~8mgの間で適宜用量を調整し、経口投与するが、効果不十分な場合には適宜用量を調整し、1日1回12mgまで経口投与することができる。		
備考	【禁忌】(次の患者には投与しないこと) 1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2. 妊婦又は妊娠している可能性のある女性 【重大な副作用】 【1】低カルシウム血症【2】QT延長		
申請科	内科		

分類	鎮咳剤		
薬品名	デキストロメトルファン臭化水素酸塩錠 15mg「NP」		
一般名	デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物	メーカー	ニプロ
薬価収載年月日	2013年12月13日（販売名変更による）		
規格・薬価	15mg1錠：5.60	貯法：室温保存	
効能・効果	1. 下記疾患に伴う咳嗽 感冒、急性気管支炎、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺炎、肺結核、上気道炎（咽喉頭炎、鼻カタル） 2. 気管支造影術及び気管支鏡検査時の咳嗽		
用法・用量	デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物として、通常、成人1回15～30mgを1日1～4回経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。		
備考	【禁忌】（次の患者には投与しないこと） 1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2. MAO阻害剤投与中の患者 【重大な副作用】 【1】呼吸抑制【2】ショック、アナフィラキシー		
申請科	内科		

分類	抗てんかん剤		
薬品名	㊦㊧ビムパット錠 50mg		
一般名	ラコサミド	メーカー	ユーシービージャパン
薬価収載年月日	2016年8月31日		
規格・薬価	50mg1錠：215.20	貯法：室温保存	
効能・効果	てんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）		
用法・用量	通常、成人にはラコサミドとして1日100mgより投与を開始し、その後1週間以上の間隔をあけて増量し、維持用量を1日200mgとするが、いずれも1日2回に分けて経口投与する。なお、症状により1日400mgを超えない範囲で適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として100mg以下ずつ行うこと。		
備考	【禁忌】（次の患者には投与しないこと） 1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2. 重度の肝機能障害のある患者〔使用経験がなく、ラコサミドの血中濃度が上昇するおそれがある。〕 【重大な副作用】 【1】房室ブロック、徐脈、失神【2】中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）【3】薬剤性過敏症症候群【4】無顆粒球症		
申請科	内科		

分類	喘息治療剤		
薬品名	クロモグリク酸 Na 吸入液 1%「サリ」		
一般名	クロモグリク酸ナトリウム	メーカー	沢井製薬
薬価収載年月日	2015年6月19日(販売名変更)		
規格・薬価	1%2mL1 管：34.30	貯法：遮光室温保存	
効能・効果	気管支喘息		
用法・用量	朝、昼及び就寝前ないしは朝、昼、夕及び就寝前1回1アンプルずつ、1日3～4アンプルを電動式ネブライザーを用いて吸入する。症状の緩解が得られれば、その後の経過を観察しながら1日2～3アンプルに減量すること。		
備考	<p>【禁忌】(次の患者には投与しないこと) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>【重大な副作用】 【1】気管支痙攣【2】PIE症候群【3】アナフィラキシー様症状</p>		
申請科	内科		

分類	－抗悪性腫瘍剤－ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体		
薬品名	⑧⑨⑩ オプジーボ点滴静注 240mg		
一般名	ニボルマブ(遺伝子組換え)	メーカー	小野薬品工業
薬価収載年月日	2018年11月28日		
規格・薬価	240mg24mL1 瓶：410,580	貯法：遮光、2～8℃保存	
効能・効果	<p>悪性黒色腫 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫 再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌 がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の胃癌 がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫</p>		
用法・用量	<p>1. 悪性黒色腫 通常、成人にはニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回240mgを2週間間隔で点滴静注する。ただし、悪性黒色腫における術後補助療法の場合は、投与期間は12ヵ月間までとする。 根治切除不能な悪性黒色腫に対してイピリムマブ(遺伝子組換え)と併用する場合は、通常、成人にはニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回80mgを3週間間隔で4回点滴静注する。その後、ニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回240mgを2週間間隔で点滴静注する。</p> <p>2. 根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 通常、成人にはニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回240mgを2週間間隔で点滴静注する。 化学療法未治療の根治切除不能又は転移性の腎細胞癌に対してイピリムマブ(遺伝子組換え)と併用する場合は、通常、成人にはニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回240mgを3週間間隔で4回点滴静注する。その後、ニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回240mgを2週間間隔で点滴静注する。</p> <p>3. 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌、再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫、再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌、がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の胃癌、がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫 通常、成人にはニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回240mgを2週間間隔で点滴静注する。</p>		
備考	<p>【警告】 1. 本剤は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤の使用が適切と判断される症例についてのみ投与</p>		

	<p>すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与すること。</p> <p>2. 間質性肺疾患があらわれ、死亡に至った症例も報告されているので、初期症状（息切れ、呼吸困難、咳嗽、疲労等）の確認及び胸部 X 線検査の実施等、観察を十分に行うこと。また、異常が認められた場合には本剤の投与を中止し、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。</p> <p>【禁忌】（次の患者には投与しないこと） 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>【重大な副作用】 【1】間質性肺疾患【2】重症筋無力症、心筋炎、筋炎、横紋筋融解症【3】大腸炎、重度の下痢【4】1型糖尿病【5】免疫性血小板減少性紫斑病【6】肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎【7】甲状腺機能障害【8】神経障害【9】腎障害【10】副腎障害【11】脳炎【12】重度の皮膚障害【13】静脈血栓塞栓症【14】Infusion reaction</p>
申請科	薬剤科

規制区分：Ⓐ：毒薬、Ⓑ：劇薬、Ⓒ：麻薬、Ⓓ：向精神薬、Ⓔ：処方せん医薬品
Ⓕ：習慣性医薬品、Ⓖ：生物由来製品、Ⓗ：特定生物由来製品、Ⓖ：放射性医薬品

(2) 院外処方限定医薬品

区分	薬品名（一般名）	製造販売元	薬効	申請科
内服	アトゼット配合錠LD アトゼット配合錠HD	MSD	小腸コレステロールトランスポーター阻害剤/HMG-CoA還元酵素阻害剤配合剤	内科
内服	イクスタンジ錠40mg イクスタンジ錠80mg	アステラス製薬	前立腺癌治療剤	泌尿器科
内服	イニシンク配合錠	武田薬品工業	選択的 DPP-4 阻害薬/ピグアナイド系薬配合剤	内科
内服	サラジェン錠5mg	キッセイ薬品工業	口腔乾燥症状改善薬	内科
内服	シダキュアスギ花粉舌下錠2000JAU シダキュアスギ花粉舌下錠5000JAU	鳥居薬品	スギ花粉症の減感作療法（アレルゲン免疫療法）薬	小児科
内服	フォシーガ錠5mg	アストラゼネカ	選択的 SGLT2 阻害剤	内科
内服	(向) モディオダール錠100mg	アルフレッサファーマ	精神神経用剤	精神神経科
内服	ルパフィン錠10mg	帝國製薬	アレルギー性疾患治療剤	耳鼻咽喉科 頭頸部外科
外用	ヘパリン類似物質外用泡状スプレー 0.3%	先発品なし 後発品を指名せず	血行促進・皮膚保湿剤	小児科

(3) 採用中止医薬品 (在庫残量は平成30年12月20日時点)

在庫残量のある薬品の在庫消費にご協力ください。

区分	薬品名	院内在庫	備考
内服	メジコン散 10%	0 g	代替削除
内服	レグバラ錠 12.5mg	1 2 5 錠	院外限定へ
内服	レグバラ錠 25mg	1 5 2 錠	院外限定へ
外用	0.1%アクリノール液「ヤクハン」	1 本	販売中止
外用	アデフロニックズポ 12.5	1 1 6 個	代替削除
外用	プロムヘキシソリン塩酸塩吸入液 0.2%「タイヨー」	4 本	代替削除
注射	アポブロン注 0.5mg	0 A	代替削除
注射	アレビアチン注 250mg	4 4 A	代替削除
注射	セファゾリンNa 点滴静注用 1g バッグ「NP」	2 2 袋	代替削除
注射	メチロン注 25%1mL	1 8 A	販売中止

(4) 院外処方限定医薬品の追加または削除

区分	薬品名	備考
内服	イクスタンジカプセル 40mg	削除
内服	ヨウレチン錠「50」	削除
内服	ヨウレチン錠「100」	追加
内服	ラシックス細粒 4%	削除
内服	レグバラ錠 12.5mg	追加
内服	レグバラ錠 25mg	追加

2. 販売中止医薬品について

区分	薬品名 (製造販売元)	⇒	代替薬品名 (製造販売元)
内服	(院外限定薬) ヨウレチン錠「50」(第一薬品産業)	⇒	(院外限定薬) ヨウレチン錠「100」(第一薬品産業)
内服	(院外限定薬) ラシックス細粒 4% (サノフィ)	⇒	削除 (一般名処方に対応)
外用	0.1%アクリノール液「ヤクハン」(ヤクハン製薬)	⇒	削除
注射	乾燥弱毒生風しんワクチン「ピケン」(田辺三菱製薬)	⇒	乾燥弱毒生風しんワクチン「タケダ」(武田薬品工業)で検討中
注射	メチロン注 25%1mL (第一三共)	⇒	削除